

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2016年1月15日

～企業が語るいきものがたりPart9～

企業と生物多様性に関するシンポジウムを開催

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）は、2月23日に企業と生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart9」を開催します。

本シンポジウムは2007年から毎年度開催しており、9回目となる今回は、愛知目標のターゲットイヤーであり、東京オリンピック・パラリンピックの開催年でもある2020年に向けた生物多様性保全の取り組みに加え、それ以降のレガシー（遺産）を見据えた「国土強靱化」ならびに「企業と行政の連携」にも焦点を当て、議論を深めていきます。また、分科会では、企業の関心が高い「自然と共生する街づくりと企業との連携」、「交通インフラの活用による生物多様性保全」、「ISO14001改訂と企業の生物多様性取り組み」の3つのテーマについて、参加者の皆さまと一緒に考えていきます。

当社は、今後も「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」への参加をはじめ、生物多様性の保全活動を推進していきます。

シンポジウムの概要

□主催：三井住友海上火災保険株式会社

□後援：環境省、経団連自然保護協議会

□特別協力：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研

□日時：2016年2月23（火） 13:30～17:30

□場所：三井住友海上 駿河台ビル（千代田区神田駿河台3-9）

□プログラム：

<第1部>（13:40～14:55）

・『なぜ世界は企業に生物多様性の取り組みを求めるのか』レスポンスアビリティ 足立 直樹氏

・『グリーンレジリエンス・イノベーション』インターリスク総研 原口 真氏

<第2部>企業の具体的な取り組みに関する3つの分科会（15:10～16:40）

	分科会1	分科会2	分科会3
テーマ	自然と共生する街づくりと企業との連携	交通インフラの活用による生物多様性保全	ISO14001改訂と企業の生物多様性取り組み
内容	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、生物多様性に配慮した東京の街づくりにおける行政の動向と、それを踏まえて企業が取り組むべき内容について議論します。	鉄道林や道路の法面緑化など、交通インフラ活用による生物多様性保全の現状や今後の方向性、ロードキル（動物の轢死）の対策を通じた取り組みを紹介します。	従来の規格よりも格段に生物多様性への対応が求められる改訂 ISO14001 を踏まえ、企業の今後の取り組みについて、事業者・NGO・専門家・行政の立場から説明します。

<第3部>分科会のまとめ（16:55～17:30）

□参加費：無料

□定員：200名（先着順）

□締切日：2月15日（月）必着

□問い合わせ先：三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室（倉持・秋葉）

TEL: 03-3259-1329 E-mail: kankyokoken@ms-ins.net

以上

2020年に向けた生物多様性保全：企業と行政等の連携を視野に入れ、国際的トレンドも踏まえた生物多様性の推進

2016年2月23日（火） 13:30～17:30（開場13:00～）
三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）

■ 開催主旨

三井住友海上が主催する本シンポジウムは、企業が生物多様性の取り組みを推進していくための機会として、2007年から毎年開催し、ご好評をいただいております。

2020年は愛知目標のターゲットイヤーであり、東京オリンピック・パラリンピックの開催年でもあります。本シンポジウムでは、2020年に向けた生物多様性保全の取り組みと、それ以降のレガシー(遺産)を見据えた「国土強靱化」と「企業と行政の連携」も視野に入れ、議論を深めていきます。また分科会では、企業のご担当者様にとって関心の高い自然と共生する街づくり、道路や鉄道等の交通インフラを活用した生物多様性保全、ISO14001改訂に伴う企業の原材料調達や土地利用への影響の3つのテーマについて、参加者の皆さまと一緒に考えていきます。本シンポジウムが企業の皆さまのお役に立てば幸いです。

■ プログラム 開会13:30 閉会17:30 ※都合によりプログラムを変更する場合があります。

第一部 (13:40～14:55)

- 『なぜ世界は企業に生物多様性の取り組みを求めるのか』 レスポンスアビリティ 代表取締役 足立 直樹氏
(改訂ISO14001, ISO26000, GRI-G4等様々な国際規格が企業に生物多様性の取り組みを求めるのはなぜか？その背景を解説し、今後の展開を考える)
- 『グリーンレジリエンス・イノベーション』 インターリスク総研 原口 真氏
(自然資本を活用した減災・防災や地域創生に資するビジネス・イノベーションのあり方・今後の展望を解説)

第二部 (15:10～16:40) 個別テーマごとの分科会を行います。関心のあるテーマの分科会にご参加下さい。

	分科会 1	分科会 2	分科会 3
テーマ	自然と共生する街づくりと企業との連携	交通インフラの活用による生物多様性保全	ISO14001改訂と企業の生物多様性取り組み
コーディネーター	共有価値計画 近江氏	インターリスク総研 原口氏	レスポンスアビリティ 足立氏
パネリスト	東京大学 大学院 横張氏 野村不動産 東氏 三井住友海上 浦嶋氏 国土交通省 都市局 柳野氏 東京都 都市整備局	JR東日本 山本氏 NEXCO東日本 森崎氏 北海道開発技術センター 野呂氏 インターリスク総研 可児氏 東京農工大学 (コメンテーター) 亀山氏 国土交通省 国総研 上野氏 (コメンテーター) 環境省 (コメンテーター) 佐藤氏	グリーンフューチャーズ 吉田氏 インターリスク総研 猪刈氏 花王 島津氏 WWF (コメンテーター) 粟野氏 日本自然保護協会 道家氏 (コメンテーター) 環境省 (コメンテーター) 鈴木氏
内容	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、生物多様性に配慮した東京の街づくりにおける行政の動向と、それを踏まえて企業が取り組むべき内容について議論します。	鉄道林や道路の法面緑化など、交通インフラ活用による生物多様性保全の現状や今後の方向性、ロードキル（動物の轢死）の対策を通じた取り組みを紹介しします。	従来の規格よりも格段に生物多様性への対応が求められる改訂ISO14001を踏まえ、企業の今後の取り組みについて、事業者・NGO・専門家・行政の立場から説明します。

第三部 (16:55～17:30) 分科会まとめ コーディネーター：レスポンスアビリティ 代表取締役 足立氏

■ 開催概要

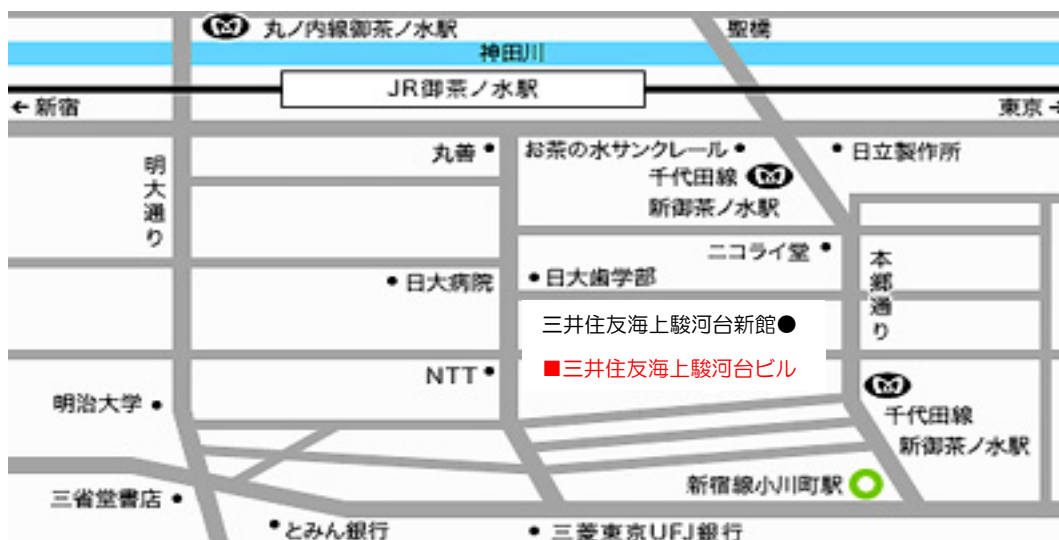
- 【日時】 2016年2月23日(火) 13:30~17:30(開場13:00~)
- 【会場】 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール(千代田区神田駿河台3-9)
最寄駅: JR「御茶ノ水駅」徒歩5分、千代田線「新御茶ノ水駅」・都営新宿線「小川町駅」
B3・B3a 出口徒歩2分、丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分 ※地図をご参照ください。
※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 【定員】 200名(応募者多数の場合は先着順。お申し込みの方には参加可否のご返信をメールお送りします)
- 【対象者】 ・企業のCSR・環境部門、事業部門、調達部門、総務・不動産部門の方など
・生物多様性に関係した活動をされている企業・NGO/NPO・行政の方
・生物多様性に興味を持たれている一般の方
- 【参加費】 無料

主催: 三井住友海上火災保険株式会社

後援: 環境省、経団連自然保護協議会

特別協力: 企業と生物多様性イニシアティブ(JBI B)、株式会社インターリスク総研

本シンポジウムは、国内で生物多様性保全に関心の高い企業(現在49社)の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ(JBI B)」の全面的なご協力のもと企画運営しています。



■ お申込方法

- 以下URLからお申し込みください。
<https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/510>
三井住友海上TOP > セミナー情報 > セミナー一覧「企業が語るいきものがたり」> 申込
- ネット環境のない方は、以下お問合せ連絡先まで、お電話にてお申し込みください。
- 申込締切 2月15日(月)
※お申込みが定員(200名)を超過した場合は先着順とさせていただきます。
※第二部では会場等の都合でご希望の分科会に参加できない場合もございます。予めご了承ください。

参加申込時にお預かりした個人情報につきましては、弊社の情報管理規程等に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

お問合わせ
連絡先

三井住友海上火災保険株式会社総務部地球環境・社会貢献室
「生物多様性シンポジウム」事務局(担当: 倉持、秋葉) 行
E-mail: kankyokoken@ms-ins.net (TEL: 03-3259-1329)